

オールインワン型コンパクトハンズフリー装置

RealTalk C7

取扱説明書

第4版 2008年10月1日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

技術基準適合認証品

©2008 NTT Advanced Technology Corporation. All Rights Reserved.

REALTALK は、NTTアドバンステクノロジー株式会社の商標です。

本取扱説明書の記載内容についての著作権は、NTTアドバンステクノロジー株式会社に
帰属します。許可なく複製・改変・転用することはできません。

目次

安全にお使いいただくために	4
ご使用にあたってのお願い	4
警告および注意事項	5
RealTalk C7の特長	6
ご使用の前に	8
各部の名称と機能	9
本体前面	9
本体側面	9
本体背面	10
ランプ表示	11
接続の手順とご使用方法	13
パソコンとのUSB接続	13
パソコンの設定の確認	15
テレビ電話装置およびパソコンとのRCAピン接続	20
電話機との接続	22
ご使用方法	23
より快適なハンズフリー拡声通話のために	24
マイクの收音範囲について	25
トラブルシューティング	26
仕様一覧	27

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、RealTalk C7を安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず注意事項をお守りください。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書および本商品のハードウェア、ソフトウェア、外観などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 記載している画面はイメージを示したものです。実際の画面と相違している場合がありますので、詳細は実機にてご確認ください。






Windows® XPIは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system およびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。

Windows Vista®は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business、Windows Vista® Ultimateの略です。

Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

警告および注意事項

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

警告

- ◎分解・改造を行わないでください。
感電、火災、故障などの原因となります。
- ◎本体を濡らさないでください。
感電、火災、故障などの原因となります。デスクトップでの使用時に、飲み物をこぼしたりしないよう、特にご注意ください。
- ◎湿気の多い場所でのご使用・保管をしないでください。
感電、火災、故障などの原因となります。
- ◎正しい電源をご使用ください。
RealTalk C7はAC100 Vでご使用ください。AC100 V以外に接続すると、感電、火災、故障の原因となります。
- ◎コンセント、テーブルタップ等の定格をお守りください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、漏電、火災、故障の原因となります。

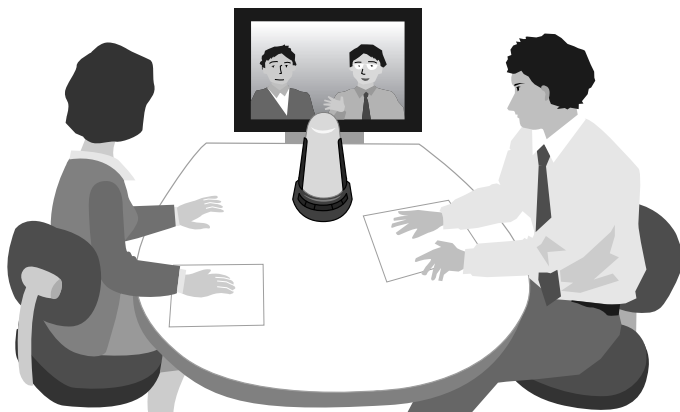
注意

- ◎長時間ご使用にならないときは、電源アダプタをコンセントから抜いてください。
感電、ショート、火災、故障などの原因となります。
- ◎落雷のおそれがあるときは、電源アダプタをコンセントから抜いてください。
感電、ショート、火災、故障などの原因となります。
- ◎直射日光、高温、低温、ほこりや振動の多い場所などでのご使用・保管をしないでください。
パネルの変形、部品の故障の原因となります。
- ◎本商品の電源を入/切するときやUSBケーブル、オーディオケーブルまたはハンドセットコードを抜き差しするときは、耳をスピーカから離してください。
スピーカからの大音量により人的傷害が発生する可能性があります。
- ◎通話中に本商品の電源を切ったり入れたりしないでください。
通話中にUSBケーブル、オーディオケーブルまたはハンドセットコードを抜き差ししないでください。本商品や通話相手のスピーカからの大音量により人的障害が発生する可能性があります。

RealTalk C7の特長

●ハンズフリー拡声通話を行う装置です

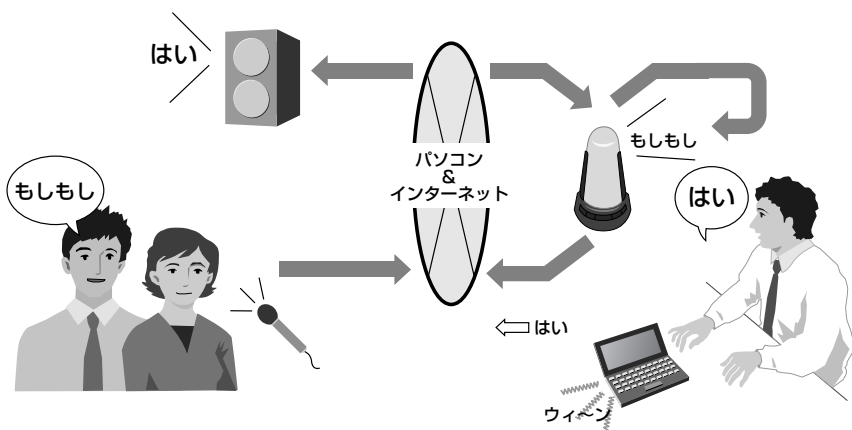
RealTalk C7は、パソコンやテレビ電話装置を利用した通信相手とWeb会議／テレビ電話をする際に、スピーカとマイクを使ったハンズフリー拡声通話を行うための装置です。



ハンズフリー拡声通話

●RealTalk C7はエコーと周囲雑音を取り除きます

RealTalk C7は、ハンズフリー拡声通話の妨げとなるエコーを消去し、ハウリングを防ぎます。また、パソコンの駆動音や空調など、耳障りな周囲雑音を抑圧し、クリアな音質による通話を実現します。



RealTalk C7によるエコーの消去と周囲雑音の抑圧

●スピーカーとマイクが一体となったオールインワン型ハンズフリー装置

スピーカーとマイクが一体になっているので、複数の参加者がマイクを持たずに、手軽にハンズフリー拡声通話を行うことができます。ミュート機能を搭載しているため、こちらの声を相手に伝えたくないときは、マイクをオフにすることもできます。

●パソコンやテレビ電話装置に接続可能

RealTalk C7は、パソコンにUSB接続することができます。Windows® XPおよびWindows Vista®標準のドライバで動作するので、パソコンのUSBポートに接続するだけで自動認識します（ドライバのインストールは必要ありません）。また、USBポートのないパソコンやテレビ電話装置には、RCAピンで接続して使用できます。

●遠くや近くの声も適切な音量にします

NTTサイバースペース研究所開発の方向別AGC技術を搭載していますので、方向別AGC機能が使用可能です。この機能を使用すると、マイクから遠く離れた小さな声や、マイクに近い大きな声を適切な音量に自動で調整します。

ワンポイント

●方向別AGC技術とは

方向別AGC技術はNTTサイバースペース研究所で開発された技術です。マイクに収音された音声の大きさに関わらず、適切な音量に調整し、快適なハンズフリー拡声通話を実現することができます。従来のAGC技術は、音量の自動調整は可能でしたが、小さな声の人に音量を合わせると、大きな人の声では過大音量になるなどの問題がありました。方向別AGC技術は、発話者の方向と声の大きさをリアルタイムで測定し、自動的に適正な音量となるようにします。

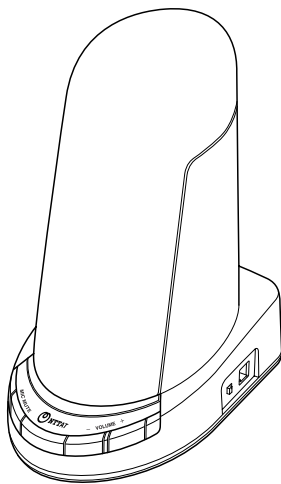
お願い

- RealTalk C7には音質を改善する機能はありません。スピーカーからの音質は、ご使用になる回線の品質やパソコンのアプリケーションに依存します。
- RealTalk C7には通信機能はありません。Web会議やテレビ電話でご使用になるには、通信アプリケーションがインストールされたパソコンまたは通信機器に接続する必要があります。詳しくは、ご使用の通信アプリケーションや通信機器の取扱説明書を参照してください。
- ソフトウェアエコーキャンセラまたはAGC機能が搭載されているWeb会議アプリケーションやVoIP電話ソフトをお使いの場合は、RealTalk C7のエコーキャンセラが正常に動作しないことがあります。Web会議アプリケーションやVoIP電話ソフトは、これらの機能をオフに設定できるものをご利用のうえ、設定をオフにしてお使いください。

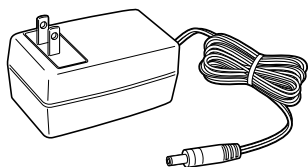
ご使用前に

ご使用前に、以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一不足があった場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。

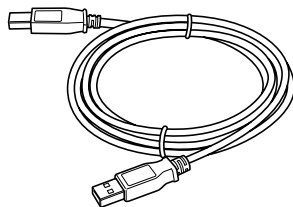
RealTalk C7本体 (1台)



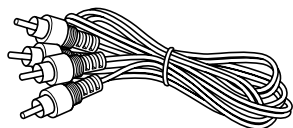
電源アダプタ (1個)



USBケーブル (1本)



オーディオケーブル (1本)



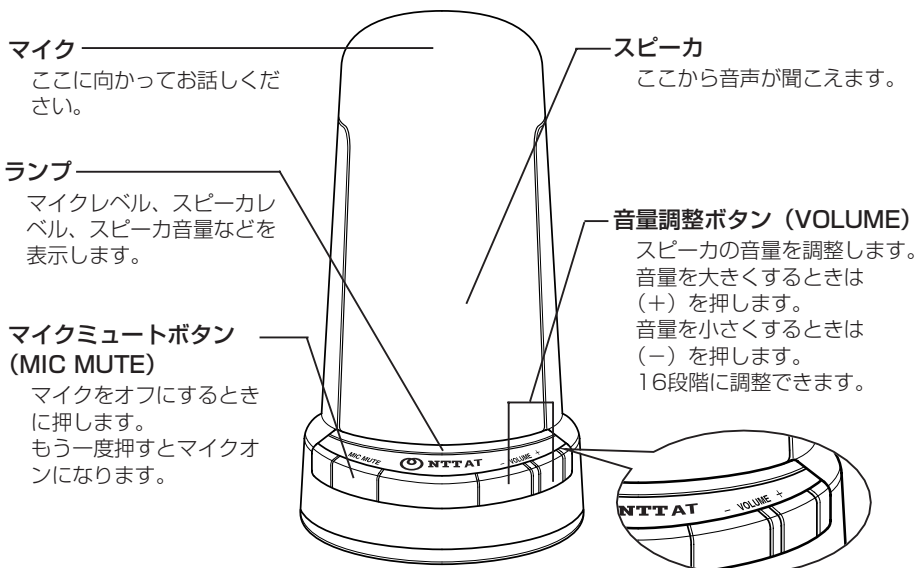
取扱説明書 (本書) (1部)

保証書 (1枚)

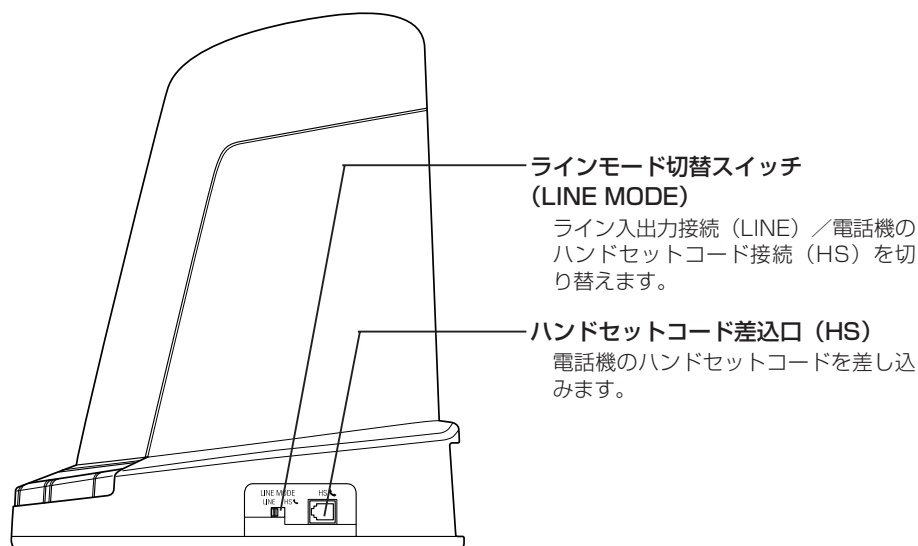
●形状は一例です。

各部の名称と機能

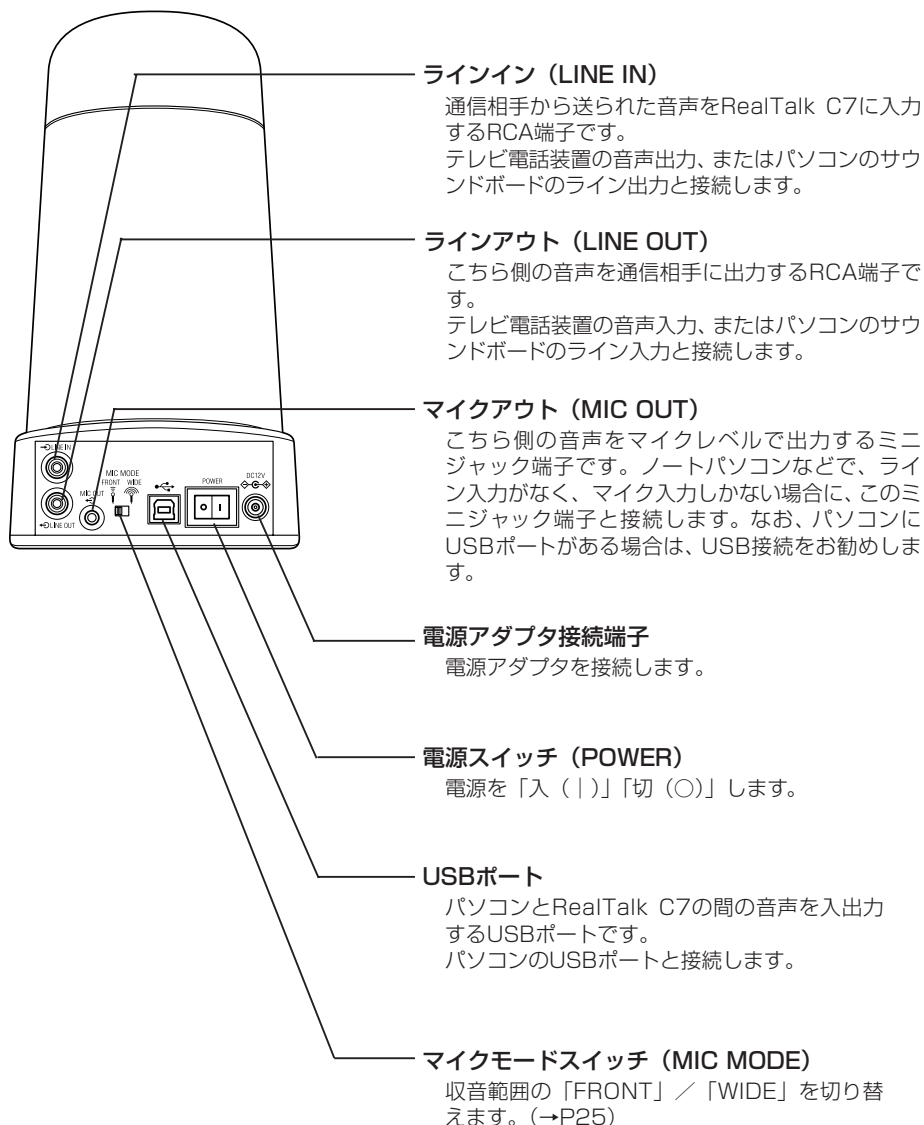
本体前面



本体側面



本体背面



STOP お願い

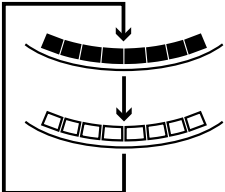
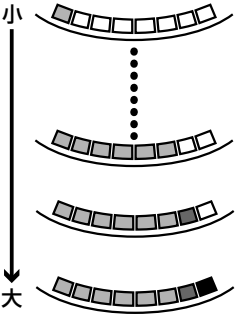
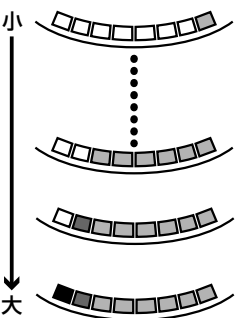
- ラインイン/ラインアウト、ラインイン/マイクアウト、ハンドセットコード差込口、USBポートは、いずれか1つを接続してください。

ランプ表示

状態	ランプのつきかた (色)
電源を入れたとき	<p>点灯 (紫)</p> <p>↓</p> <p>消灯</p> <p>↓</p> <p>点灯 (紫)</p> <p>↓</p> <p>消灯</p> <p>↓</p> <p>点灯 (青)</p> <p>右端のランプが点灯 (青) する場合もあります。</p>
待機時	<p>点灯 (青)</p> <p>右端のランプが点灯 (青) する場合もあります。</p>
マイクモードスイッチを「FRONT」に切り替えたとき	<p>点灯 (紫)</p> <p>↓</p> <p>消灯</p> <p>↓</p> <p>点灯 (紫)</p> <p>↓</p> <p>消灯</p> <p>↓</p> <p>点灯 (紫)</p> <p>↓</p> <p>消灯</p> <p>↓</p> <p>点灯 (青)</p> <p>右端のランプが点灯 (青) する場合もあります。</p>
マイクモードスイッチを「WIDE」に切り替えたとき	<p>点灯 (紫)</p> <p>↓</p> <p>消灯</p> <p>↓</p> <p>点灯 (紫)</p> <p>↓</p> <p>消灯</p> <p>↓</p> <p>点灯 (紫)</p> <p>↓</p> <p>消灯</p> <p>↓</p> <p>点灯 (青)</p> <p>右端のランプが点灯 (青) する場合もあります。</p>
スピーカ音量を調整しているとき	<p>小</p> <p>↓</p> <p>大</p> <p>音量1、2</p> <p>音量15、16</p> <p>点灯 (赤)</p> <p>ランプ1つが2段階を表示し、16段階に調整できます。</p>

(次ページへ続く)

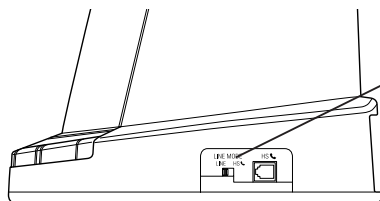
(続き)

状態	ランプのつきかた (色)
マイクオフのとき	 <p>点灯 (赤)</p> <p>消灯</p>
こちら側がお話しているとき (マイクレベル)	<p>小</p>  <p>点灯 (青) レベルは適正です。</p> <p>点灯 (青) + 点灯 (紫) やや大きめです。</p> <p>点灯 (青) + 点灯 (紫) + 点灯 (赤) 大きすぎます。 適正な音量となるよう、マイクから離れるか、小さい声で話してください。</p> <p>大</p> <p>左からマイクレベルを表示します。</p>
相手側がお話しているとき (スピーカレベル)	<p>小</p>  <p>点灯 (青) レベルは適正です。</p> <p>点灯 (青) + 点灯 (紫) やや大きめです。</p> <p>点灯 (青) + 点灯 (紫) + 点灯 (赤) 大きすぎます。 適正な音量となるよう、RealTalk C7 に音声を入力する装置 (テレビ電話装置やパソコンなど) の出力レベルを小さくしてください。もし、装置側で調整ができない場合は、音量調整ボタンの (-) を押してスピーカ音量を小さくしてください。</p> <p>大</p> <p>右からスピーカレベルを表示します。</p>

接続の手順とご使用方法

パソコンとのUSB接続

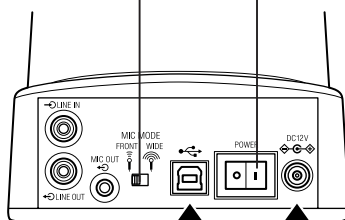
パソコンの電源を切った状態で行ってください。



① ラインモード切替スイッチを「LINE」に切り替える。

② 収音範囲に合わせて、マイクモードスイッチを「FRONT」または「WIDE」に切り替える。
(→P25)

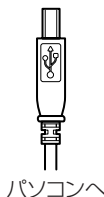
⑥ 電源スイッチの「|」側を押して電源を入れる。



④ 電源アダプタのプラグを電源アダプタ接続端子に差し込む。

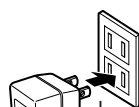
③ USBケーブルでパソコンに接続する。

本商品のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続してください。

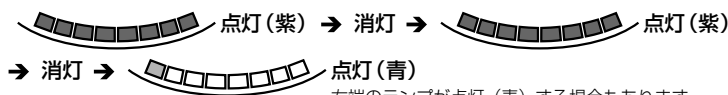


パソコンへ

⑤ 電源アダプタをコンセントに差し込む。



⑦ ランプ表示を確認する。



右端のランプが点灯(青)する場合があります。

接続が終わったら、「パソコンの設定の確認」(→P15)へ進んでください。

(次ページへ続く)

(続き)

お願い

- 必ず付属の電源アダプタをご使用ください。他の電源アダプタをご使用になると、故障の原因となります。

お知らせ

- パソコンにUSBポートがない場合は、パソコンの音声入出力端子とRCAピンで接続することによりご使用になれます。(→P20)
- ご使用になれるパソコンのOSは、Windows® XP Home Edition、Windows® XP ProfessionalおよびWindows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business、Windows Vista® Ultimate の各日本語版の32ビット版です。

パソコンの設定の確認

下記の手順に従って、パソコンの設定を確認します。

本書ではWindows Vista®の通常の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

1 コントロールパネルを表示する。

Windows Vista®を起動し、[スタート]メニューから[コントロールパネル]をクリックします。



2 [ハードウェアとサウンド]を表示する。

コントロールパネルの[ハードウェアとサウンド]をクリックします。



お知らせ

- Windows Vista®では、コントロールパネルの表示モードにホームモード（カテゴリ表示モード）とクラシック表示モードがあります。この取扱説明書の画面は、ホームモードを前提に記述しています。

（次ページへ続く）

(続き)

3 [サウンド] 画面を表示する。

[オーディオデバイスの管理] をクリックします。



4 [サウンド] の [再生] 画面を確認する。

[スピーカー - RealTalk C7 動作中] が選択されていることを確認します。

[スピーカー - USB オーディオ デバイス 動作中] と表示される場合もあります。



5 [サウンド] の [録音] 画面を確認する。

- ① [録音] タブをクリックします。
- ② [マイク RealTalk C7 動作中] が選択されていることを確認します。
[マイク USB オーディオ デバイス 動作中] と表示される場合もあります。



6 [マイクのプロパティ] 画面を表示する。





[プロパティ] をクリックします。

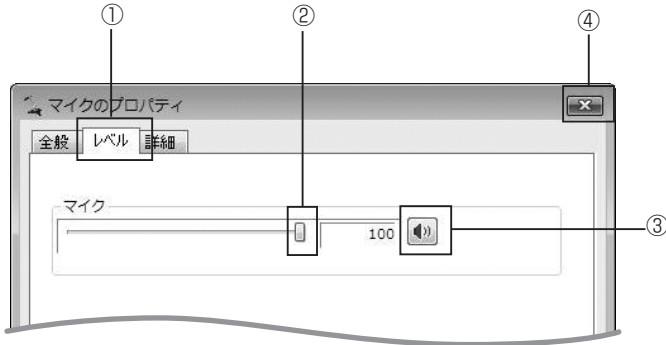


(次ページへ続く)

(続き)

7 マイク音量を調整する。

- ① [レベル] タブをクリックします。
- ② [マイク] の音量を最大に調整します。
- ③ [マイク] アイコンが  になっていることを確認します。
 になっている場合は、 をクリックして  にしてください。
- ④ 右上の [×] をクリックして画面を閉じます。







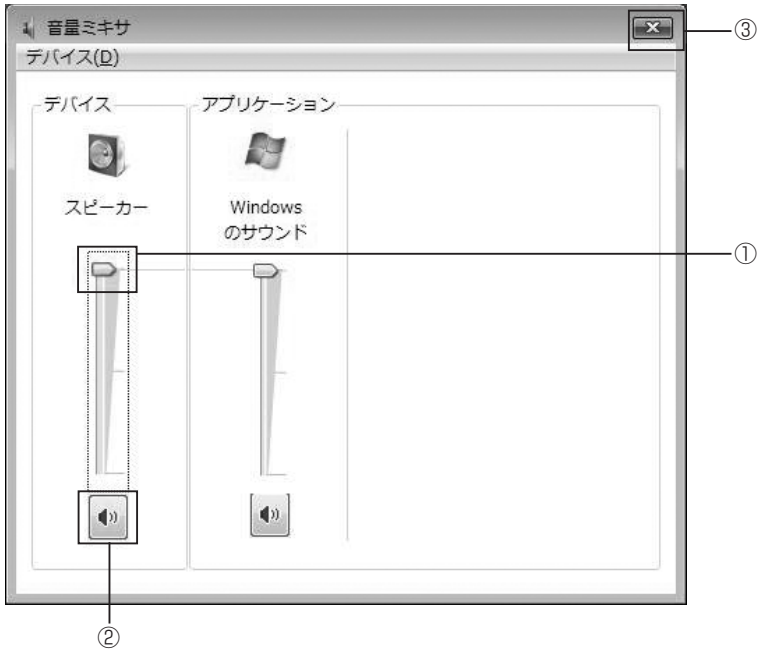
8 [音量ミキサ] 画面を表示する。

[システム音量の調整] をクリックします。



9 スピーカ音量を調整する。

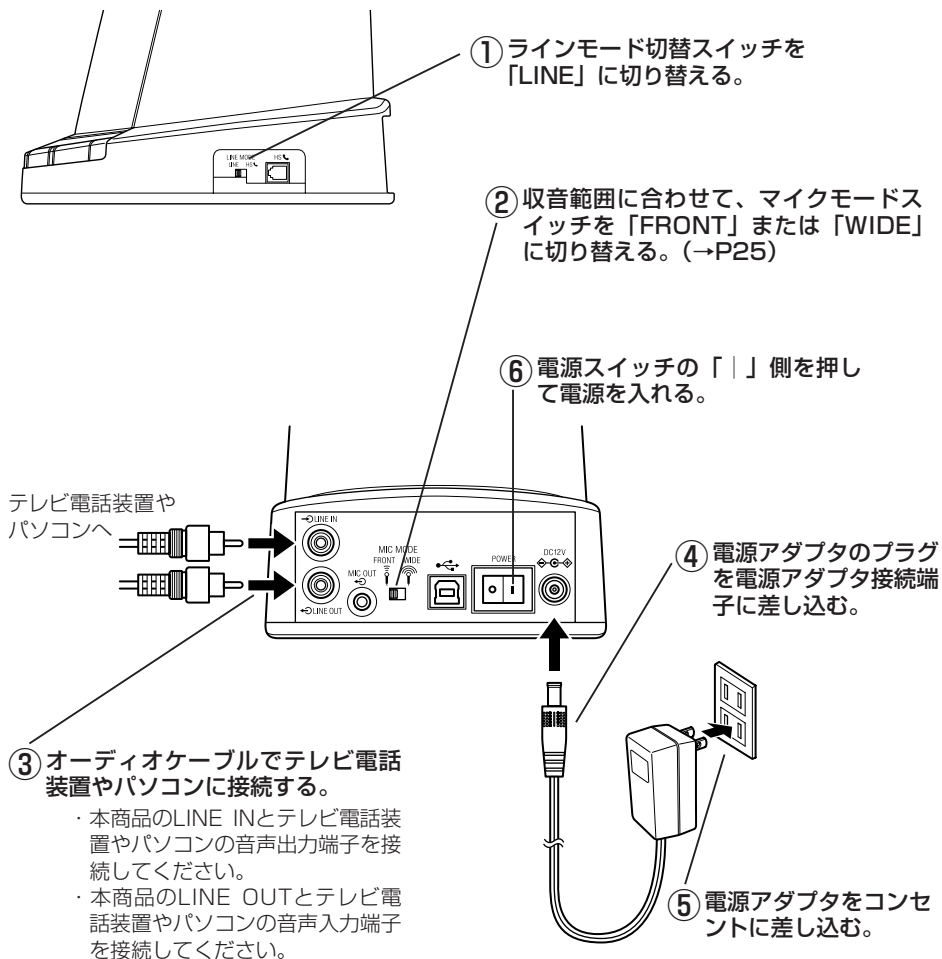
- ① [スピーカー] の音量を最大に調整します。
- ② [スピーカー] アイコンが  になっていることを確認します。
 になっている場合は、 をクリックして  にしてください。
- ③ 右上の [X] をクリックして画面を閉じます。



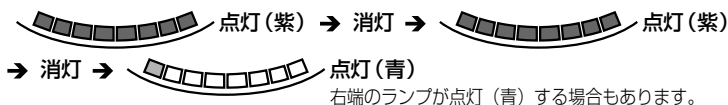
設定の確認はこれで終了です。
「ご使用方法」(→P23)へ進んでください。

テレビ電話装置およびパソコンとのRCAピン接続

テレビ電話装置やパソコンの電源を切った状態で行ってください。



⑦ ランプ表示を確認する。



接続が終わったら、「ご使用方法」(→P23)へ進んでください。

ワンポイント

●マイク入力端子のみを持つテレビ電話装置およびパソコンの場合は

本商品のMIC OUTとテレビ電話装置やパソコンのマイク入力を接続します。

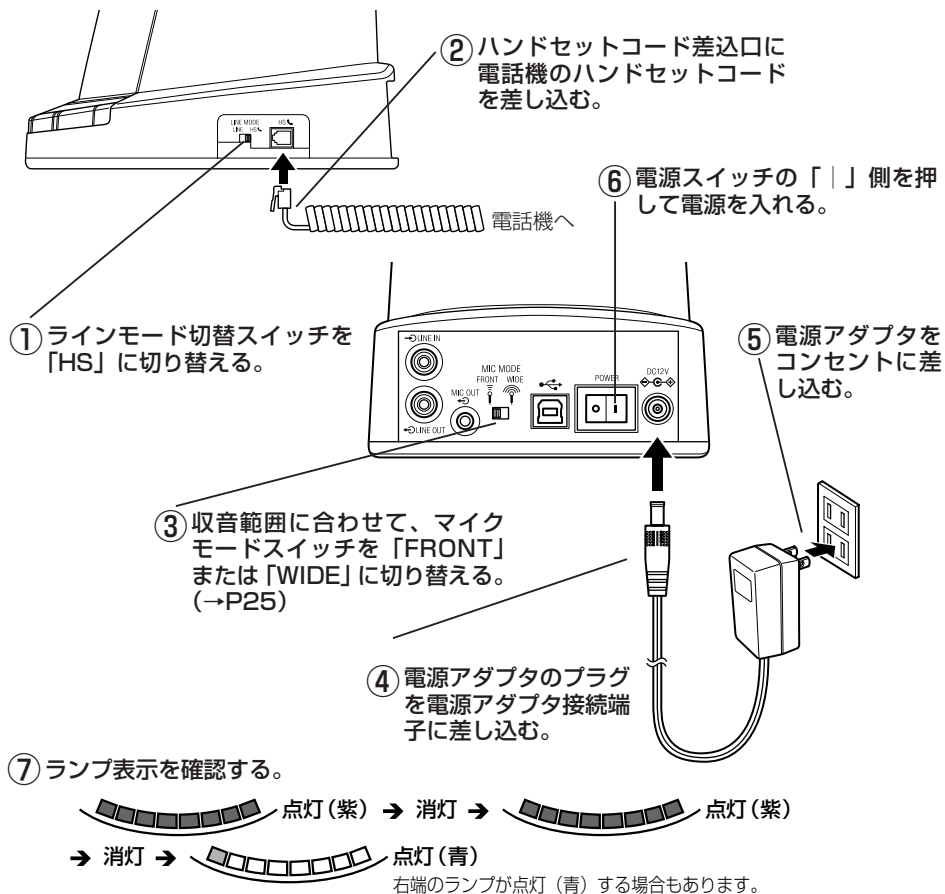
お願い

- 必ず付属の電源アダプタをご使用ください。他の電源アダプタをご使用になると、故障の原因となります。

お知らせ

- テレビ電話装置およびパソコンの音声入出力端子の端子形状が付属のオーディオケーブルと異なる場合は、変換ケーブルやプラグアダプタなどで変換してご使用ください。

電話機との接続



接続が終わったら、「ご使用方法」(→P23)へ進んでください。

STOP お問い合わせ

- 必ず付属の電源アダプタをご使用ください。他の電源アダプタをご使用になると、故障の原因となります。

お知らせ

- 接続する電話機は、NS-A1/NS-A2を推奨します。NS-A1/NS-A2以外の電話機を接続した場合の動作保証はしていません。
- 相手側から声が小さいと言われたときは、大きい声で話すか、相手側のスピーカ音量を大きくしてください。
- スピーカ音量が小さいときは、音量調整ボタンの(+)を押してスピーカ音量を大きくしてください。

ご使用方法

- 1** パソコンのWeb会議アプリケーションやVoIP電話ソフト、テレビ電話装置、電話機を操作して、通信相手と接続する。
- 2** 本商品に向かって会話する。
マイクから3 m程度離れていても十分な音量で收音しますので、マイクを気にせずに通話できます。
- 3** 通話が終わったら、通信を切断する。
- 4** 本商品の電源スイッチの「○」側を押して、電源を切る。

ワンポイント

●スピーカ音量を調整するには

スピーカ音量を大きくするときは音量調整ボタン（+）、小さくするときは（-）を押します。16段階で調整できます。

●こちらの話を相手に伝えたくないときは

マイクミュートボタンを押します。マイクミュートボタンを押すごとに、マイクのオン/オフが切り替わります。

●マイクの收音範囲は

マイクモードスイッチを切り替えることにより、收音範囲を変更することができます。（→P25）

本商品の横と後方は收音しにくくなっていますので、本商品より前方で通話をしてください。

お願い

- パソコンを使用している通話中は、パソコンをスタンバイ、スリープ、休止状態にしないでください。

お知らせ

- パソコンのWeb会議アプリケーションやVoIP電話ソフトの操作については、使用するソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- テレビ電話装置の設定および操作については、テレビ電話装置の取扱説明書を参照してください。
- パソコンのスピーカ音量の設定で、[スピーカー] がミュートに設定されていると、音声は聞こえません。ミュートを解除してください。（→P19）
- パソコンのマイク音量の設定で、[マイク] がミュートに設定されていると、こちらの声が相手に聞こえません。ミュートを解除してください。（→P18）

●カーテンなどの吸音対策

Web会議やテレビ電話を行う部屋の響きが大きい場合は、壁面にカーテンを配するなどの吸音対策をすると、明瞭度も向上し、快適な通話が行えます。

●音量調整の注意点（ヘッドセットでの参加者がいる場合）

ヘッドセットを使用すると、話者の口元とマイクの距離が近いために過大入力になりがちです。

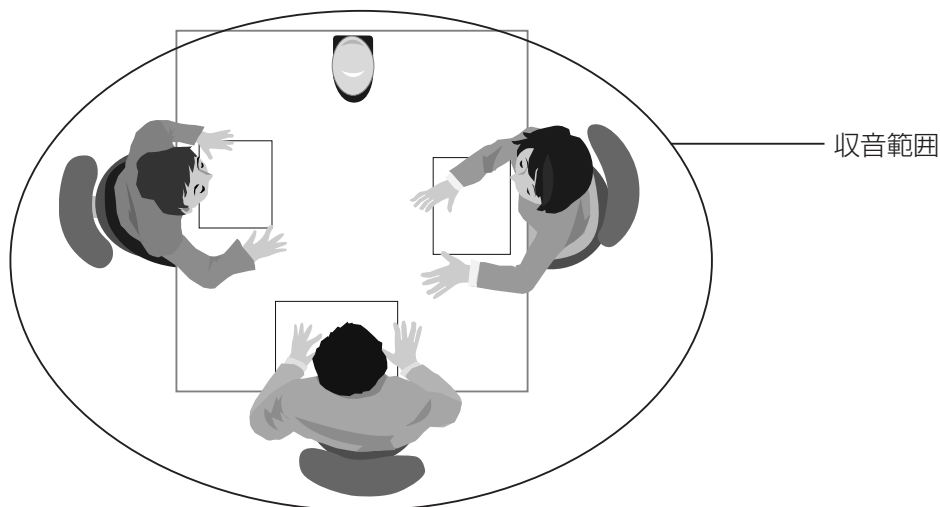
ヘッドセットを使用する参加者（ヘッドセット拠点）とマイク、スピーカを使用する参加者（拡声拠点）が混在する場合は、最初に拡声拠点同士で適正な音量に調整してから、ヘッドセット拠点の音量を拡声拠点に合わせてるように調整してください。

拡声拠点が1拠点の場合は、拡声拠点とヘッドセット拠点で通話し、拡声拠点優先で音量調整をしてから、ヘッドセット拠点の音量を拡声拠点に合わせてるように調整してください。

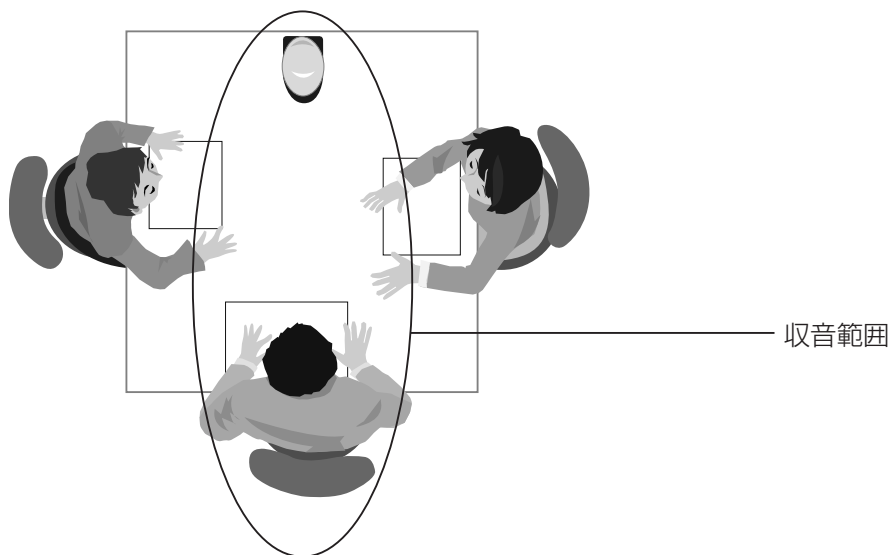
マイクの收音範囲について

マイクモードスイッチを切り替えることにより、收音範囲を変更することができます。

●マイクモードスイッチが「WIDE」の場合



●マイクモードスイッチが「FRONT」の場合



トラブルシューティング

こんなとき	確認してください	参照ページ
相手側の声が聞こえない	本商品の電源は入っていますか？ →電源を入れてください。	P13、20、 22
	正しく接続されていますか？ →接続を確認してください。	P13、20、 22
	スピーカ音量が小さすぎませんか？ →スピーカ音量を調整してください。	P9
	相手側でマイクがオフになっていませんか？ →相手側のマイクをオンにしてください。	—
スピーカから聞こえる音が小さい	スピーカ音量が小さすぎませんか？ →スピーカ音量を調整してください。 →スピーカ音量が適正になっている場合は、相手側のマイク感度を確認してください。	P9
	本商品に接続したテレビ電話装置やパソコンなどの音声出力レベルが小さすぎませんか？ →本商品に接続したテレビ電話装置やパソコンなどの音声出力レベルを大きくしてください。	—
相手側から声が聞こえないと言われる	本商品の電源は入っていますか？ →電源を入れてください。	P13、20、 22
	正しく接続されていますか？ →接続を確認してください。	P13、20、 22
	マイクがオフになっていませんか？ →マイクミュートボタンを押して、マイクをオンにしてください。	P9
相手側から声が小さいと言われる	話しているときにマイクレベルランプが適正レベルで点灯していますか？ →マイクに近づくか、大きい声で話してください。 →相手側のスピーカ音量が小さすぎないかどうか、確認してください。	P12
	本商品に接続したテレビ電話装置やパソコンなどの音声入力レベルが小さすぎませんか？ →本商品に接続したテレビ電話装置やパソコンなどの音声入力レベルを大きくしてください。	—
エコーやハウリングが気になる	そのまま通話を続けてください。徐々にエコーキャンセラが働きます。 →エコーキャンセラが働かない場合は、本商品の設置場所が適切か、スピーカ音量が大きすぎないかどうかを確認してください。	—
相手側から雑音が気になると言われる	そのまま通話を続けてください。徐々にノイズリダクションが働きます。 →ノイズリダクションが働かない場合は、周囲雑音が大きくないか、相手側のスピーカ音量が大きすぎないかどうかを確認してください。	—
スピーカから聞こえる音が小さい、またはエコーがかかったように聞こえる（OSがWindows Vista® のパソコンとUSB接続しているとき）	①「パソコンの設定の確認」（→P15、16の手順1～4）を行ってください。 ②サウンド画面の「プロパティ」→「音の明瞭化」タブの順にクリックしてください。 ③「すべての音の明瞭化設定を無効にする」のチェックが外れていませんか？ →「すべての音の明瞭化設定を無効にする」にチェックを入れ、「OK」をクリックしてください。	—

仕様一覧

項目		仕様
USBポート		USB1.1フルスピード/AC97準拠
ライン入出力	ラインイン	RCAピンジャック 入力インピーダンス30 K Ω 以上
	ラインアウト	RCAピンジャック 出力インピーダンス150 Ω 以下
	マイクアウト	Φ 3.5 mmミニジャック 出力インピーダンス150 Ω 以下
ハンドセットコード差込口		4ピンモジュラジャック
マイク/スピーカ	内蔵マイク	本体上部に内蔵
	内蔵スピーカ	本体前面に内蔵 (防磁型)
周波数帯域		100 Hz~7 KHz
エコー除去時間		128 ms
VCCI		クラスB
使用電源		AC100 V \pm 10 V (50/60 Hz) (専用電源アダプタ使用)
消費電力		最大9 W
外形寸法		約120 mm (W) \times 約189 mm (D) \times 約223 mm (H)
質量 (本体)		約930 g
使用条件		温度: 0 $^{\circ}$ C~40 $^{\circ}$ C 湿度: 20 %~85 % (結露しないこと)
対応OS		<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows[®] XP Home Edition、 Windows[®] XP Professional ・ Windows Vista[®] Home Basic、 Windows Vista[®] Home Premium、 Windows Vista[®] Business、 Windows Vista[®] Ultimate の各日本語版の32ビット版

920088A4

お問い合わせ先

NTTアドバンステクノロジー株式会社

エコキャンセラ担当

〒210-0007 神奈川県川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパークビル

TEL : 044-220-2131 FAX : 044-220-2025

e-mail : ec-mng@ntt-at.co.jp

URL : <http://www.ntt-at.co.jp/product/ec/>

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。